

桜梅桃李

芽室西中学校
3B

見つけよう！感じよう！ 芽室、東京それぞれの良さを

3B調査隊 東京へ！

5ヶ月ほど準備をした修学旅行では2泊3日で国会議事堂などを始めとして日本の首都「東京」を巡り、芽室町のPRや研修を通して様々な経験し、学ぶことができた。その一部を紹介する。

【上野研修】

初日は上野でグループごとに、美術館や科学博物館、上野動物園の中から2つを選んで見学した。美術館を選んだ生徒からは「見たことのない絵がたくさんあって、どれも素敵だった」「神秘的でまた行きたい」という声が聞かれた。科学博物館を訪れた生徒は「興味のある動物の化石や複製をたくさん見てくれた」「上野動物園では「行く時



【芽室PR】

修学旅行2日目、私たちは浅草の雷門で観光客や現地の人に芽室町をPRした。北海道のコーンで作られたコーンスープ、芽室町にある日甜の工場で作られたスティックシュガー、事前に作ったパンフレットを配り、芽室町の魅力を説明した。また、自主研修の見学先でお世話になった人やバスガイドさんにも、お礼として渡した。アンケートに答えてくれた人の回答からは「今度訪れたい街

【自主研修】

浅草寺での芽室PRの後、それぞれに別れた。自主研修を行なった。お台場の未来科学館では歴史人物が喋っているところやロボットを見た。小学館では編集部の見学や点字などバリアフリーの本を紹介してもらった。他にも農林水産省やNH

伝えたい言葉

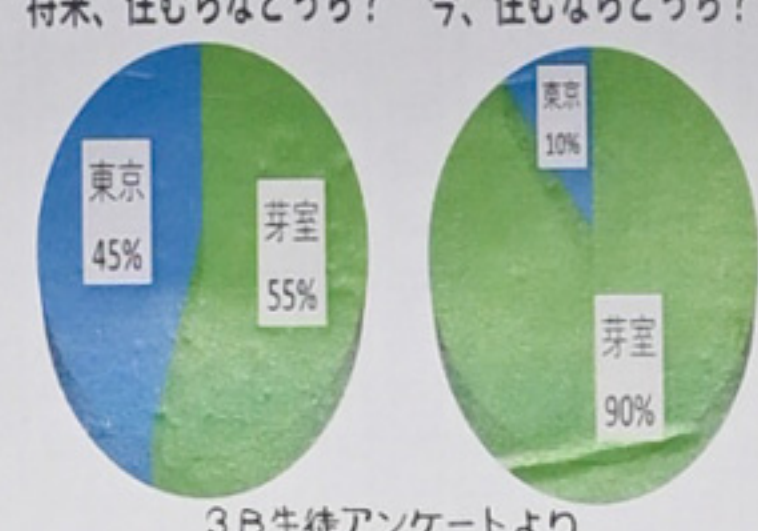
これから先、いつか必ず訪れる大切な人との別れ。最後の挨拶ができるとしたら、みなさんはどんな言葉を伝えたいのか？私には大好きな祖父母がいる。遊びに行くとき必ず笑顔で出迎えてくれる。いろんな話を聞いてくれたり、私の好きな料理を食わせてくれたり、いつもリラックスした時間を過ごすことができる。保育園の時から運動会・発表会などは欠かさず観て来てくれた「頑張ったね。すくすく良かっただよ」と褒めてくれる。この数年では旅行などに連れて行ってくれて、楽しい時間と素敵な思い出を

そうしないともうすぐ後悔する気がする。きつと何をしてあげたか、これをしてあげたか、と後悔する。た「あれも、必ずなにかしら後悔が残るだろう。近い未来に訪れる祖父



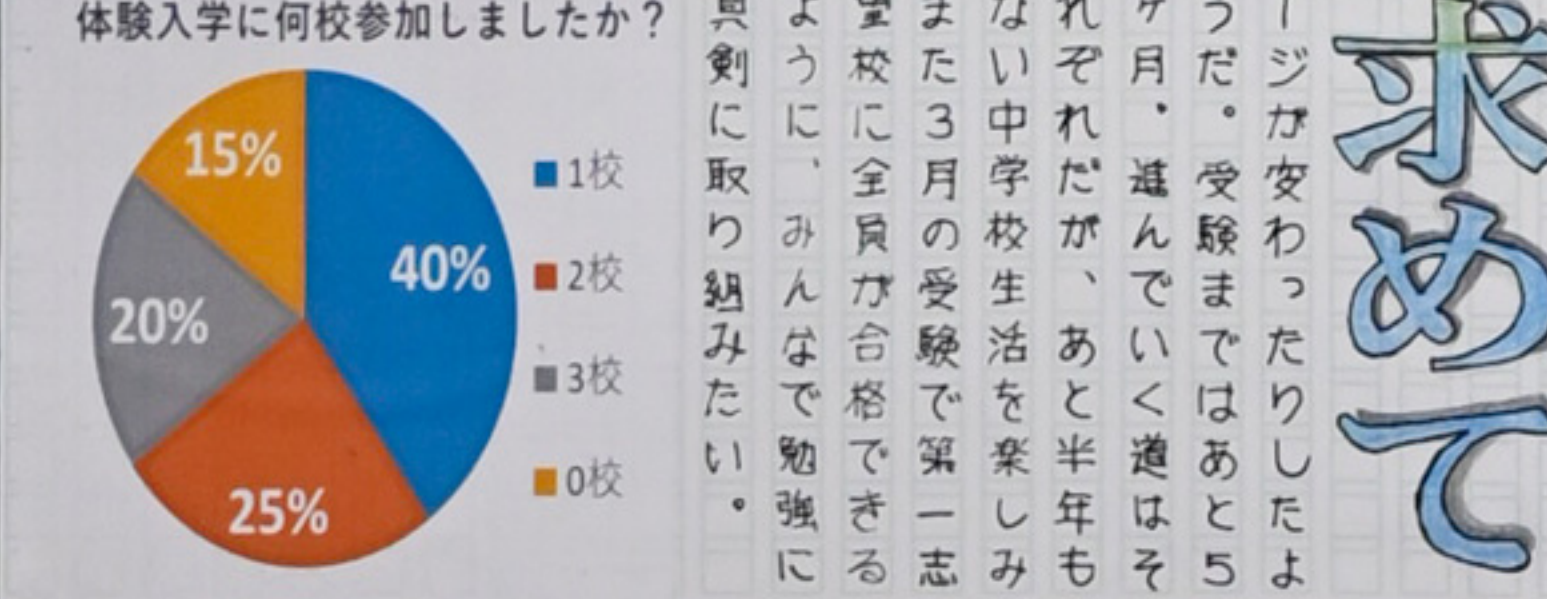
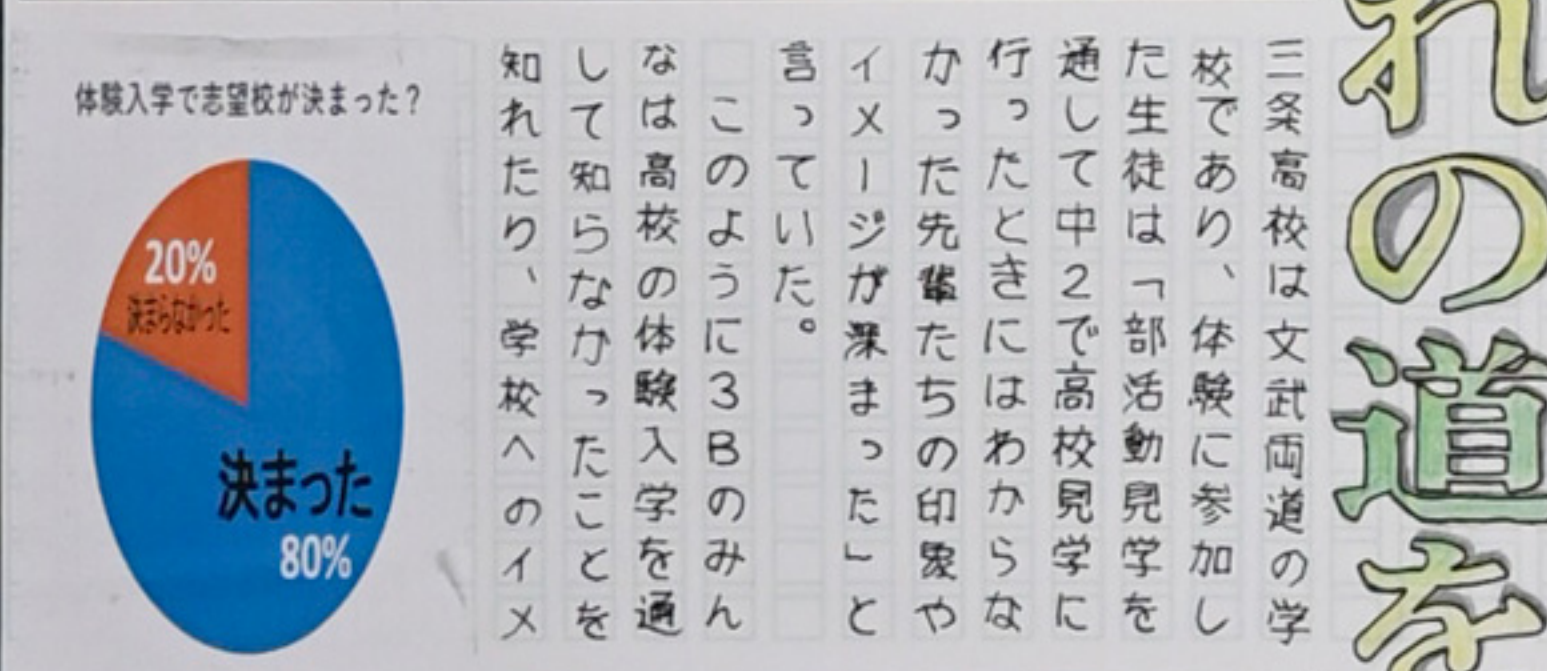
白熱！団結！力を出し切れ！

1・2年生も気合を入れた練習したのだった。総練習の時よりも格段に上手くなっていった。3年生の番が来た。少しいやばいという気持ちがあったが、「今まで練習をやればよかった」とみんなが思いながら、縄を回していった。飛田さんと浅野さんの「はいー」という掛け声に合わせて飛び始めた。あーという間に2分間が終わり、ついに結果発表。結果はなんと、154回飛んで1位だった。そのとき、練習での最高記録だった138回を超え、1度も縄に引っか



移動がしやすい。歴史的建築物が多い。日本の歴史を身近に感じることができると。芽室は「畑や山があり、自然を見ることができると。新鮮な野菜を食べることができると。地域で花火大会などの関わりが多い。公園や家の庭が広く、外で活動しやすい」という声が上がった。このように首都東京を訪れたことで、東京と芽室のそれぞれの良さを感

それぞれの道を求めて



3B開花 ～クラスの成長～

動きすることで時間の過不足によるプランの変更などの判断を協力し迅速に行い特に目立ったトラブルはなかった。2年生では、全員全力で挑戦したが、コンビネーションがあまり発揮できていない点が見られた。しかし、3年生では一歩一歩団結力が高まり、8の字大縄では、全員で跳ぶという目標に力を注ぎ最高の記録、思い出を作ることができた。3年間を通して様々な行事での成功を積み重ね、自分たちは思いやりや、まとまりを深めていくことができた。人生で最高の仲間と出会えたという意識を心のどこかで抱いている。残りの中学校でもこのクラスでさらなる成長を目指したい。

「編集後記」桜梅桃李は他と比べ、個性を磨き、自分らしく輝いて生きるという意味で、私たちが3Bに合っていると。新聞作りでは、クラスのみならず意見を合意し協力する中で新しいアイデアが生まれたり、作業の楽しさを感じたりすることができた。3年間作り続け、自分たちの成長を実感しながら、大変さややりがいを感じることができた。3Bらしい工夫と個性あふれる新聞を完成させられたと思う。牛木蒼介 浅野悠奈 池戸陽向 宇治橋健吾 鈴木理夏 宇治あかり 飛田百枝 前田博貴 堀田侑雅 南館亮汰 南出道寛 村瀬萌依 横地泰人 吉村羽叶



命を預かる モルモットの名前はゆきちゃん、飼育学習のため旭山動物園から3週間預かった。グーシは毎日掃除をした。牧草や排泄物を捨てた。毎日みんなと入れ替わって行っていたので早く終わらせた事で早く終わった。掃除をしてもらったことは、排泄物が多くて匂いするので、思っていたよりも大変だった。ゆきちゃんには最初不安で緊張していたが、世話をするうちに慣れ、話をするときは甘えるような鳴き声をだすこともあった。私たちが帰ってきたら、今日の飼育学習では暑い日も多く、室温や湿度を気にしながら飼育した。毎日動物を飼育している人は本当に大変だと思